

令和4年度協働事業提案制度 公開中間ヒアリング

日時 令和4年10月22日(土) 午後1時～午後1時50分
会場 相模原市立産業会館 4階 特別会議室

時間	区分	内容	事業概要	団体名	事業担当課	採択年度
13:00						
			〈 開 会 〉			
13:10	市民	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業	人口減少の時代にあって、「住んで良かった」と思えるまちづくりに貢献するために専用HPの運用、移住・定住に関する全般的な相談事業、中山間地域の住環境整備及び空き家対策等の事業を実施する。	藤野観光協会	緑区役所地域振興課 観光・シティプロモーション課 建築・住まい政策課	R2
13:30	市民	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり	規格外や賞味期限間近の食材が廃棄されている一方、明日の食事にも困る世帯に食材を適宜配布することで循環型社会を実現させ、食の格差を削減することで、市民の暮らしの満足度を高めて、子どもや若者をはじめ誰もが生涯にわたり活躍でき、笑顔と希望があふれるまちを次代につなぐことを目指します。	フードコミュニティ	こども・若者支援課 子育て給付課 資源循環推進課	R2
13:50						
			〈 閉 会 〉			

公開中間ヒアリングについて

協働事業提案制度公開中間ヒアリングは、事業の進捗状況や協働の状況、成果を検証し、協働事業提案制度事業としての妥当性や継続性などについての評価を行い、次年度の継続を希望する事業の継続可否について審査を行うとともに、協働を学びあう場として開催します。

また、中間地点においてしっかりと双方が事業の振り返りを行う機会を持つことで、より質や効果の高い協働事業となることを期待しています。

公開中間ヒアリングに臨むにあたり、評価項目が18ある中間ヒアリング調書を実施団体と事業担当課がそれぞれ事前に作成しています。

それぞれが行ったa～dの評価を点数化し、各事業における実施団体と事業担当課の意識差を次ページに掲載しています。

こうして、意識に差がある部分は何かを明らかにすることにより、今後のより良い事業実施につなげていくことも、このヒアリングの目的としています。

また、実施団体と事業担当課が作成したヒアリング調書もあわせて掲載していますので、ヒアリングを聞く際の参考としてください。

2事業の自己評価数値および意識差

※自己評価数値について

- a=4 → 肯定する(はい) (おおいに思う)
 b=3 → どちらかと言えば肯定する(どちらかと言えば思う)
 c=2 → どちらかと言えば否定する(どちらかと言えば思わない)
 d=1 → 否定する(いいえ) (思わない)

NO. 1 「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	70
行政	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	70
差	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO. 2 食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
行政	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	70
差	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和2年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業					
団体の名称	藤野観光協会					
事業担当課	緑区役所地域振興課 観光・シティプロモーション課 建築・住まい政策課					
事業の概要	人口減少の時代にあって、「住んで良かった」と思えるまちづくりに貢献するために専用HPの運用、移住・定住に関する全般的な相談事業、中山間地域の住環境整備及び空き家対策等の事業を実施する。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	相模原市においても、近い将来人口減少が避けられない状況であるが、活力ある相模原市の維持のためには人口の減少幅を可能な限り抑制し、かつ生産年齢人口をある程度確保した人口構成を実現しなければならない。また、空き家対策は安全・安心対策にとどまらず、それらを移住・定住につなげるという積極的な利活用が望まれる。これらの課題解決をめざして市内への移住・定住を一層推進し、「住んでみたいまち相模原」を実現していくこと。					
令和4年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。					
	1、移住・定住希望者向け専用HP「里まっち」及び「さがすむ」の運用による本事業のPR 2、空き家・空き地所有者に対する本事業のPR及び空き家・空き地に関する情報収集 3、移住・定住に関する相談、物件案内、契約補助等に関する業務 4、移住体験ツアーの開催（4回） 5、移住・定住促進のためのパンフレット「『里まっちの家』購入ガイド」の作成及び「里まっちの家」推進 6、「マイホーム借り上げ制度」の周知 7、テレワークセンター「森ラボ」との連携による新しいライフスタイルに対応した移住・定住推進					
令和4年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	1…随時 「里まっち」「さがすむ」の運用による事業PR 2…随時 空き家・空き地所有者に対する事業PR及び空き家・空き地情報の収集 3…随時 移住・定住相談、物件案内、契約補助等 4…4月 移住体験ツアー開催（7月はコロナ感染状況を鑑みて中止） 5…4月 藤野移住促進提携住宅ローンに関する協定書締結（対山梨信用金庫） 6…6月～8月 パンフレット「『里まっちの家』購入ガイド」作成 7…8月～9月 「森ラボ」との連携による移住・定住促進案の検討					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	1…随時 「里まっち」「さがすむ」の運用による事業PR 2…随時 空き家・空き地所有者に対する事業PR及び空き家・空き地情報の収集 3…随時 移住・定住相談、物件案内、契約補助等 4…10、12月 移住体験ツアー開催 5…11月～1月 「里まっちの家」化のためのリフォーム情報提供 6…1月～3月 「マイホーム借り上げ制度」活用案の検討					
9月末現在での事業達成度 ……（ 60 ）%程度						
成果をはかる指標（ページビュー数、移住問合せ件数、移住体験ツアー参加者数） 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 ○ページビュー数【目標】「里まっち」年間10,000、9月末時点5,882 「さがすむ」年間5,000、9月末時点2,410 ○移住問合せ件数【目標】年間100件、9月末時点66件 ○移住体験ツアー参加者数【目標】1回当たり20人、4月開催分20人						
事業予算額	5,000 千円					
うち市負担金額	3,891 千円 （市負担割合 78 %）					

令和5年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和5年度事業予算額	5,603 千円	（当初提案時の金額：	5,695 千円）
令和5年度市負担金希望額	3,929 千円	（当初提案時の金額：	4,000 千円）

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況		はい			いいえ
		はい			いいえ
(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 新型コロナウイルス感染の収束が見通せない中、行政担当課との対面での打ち合わせの機会は限定され、また7月に予定していた移住体験ツアーの開催を断念せざるを得なかったなどの制約を受けた。				
B：事業の評価		はい			いいえ
		はい			いいえ
(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。 (課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、新しいワークスタイル、ライフスタイルが求められる中、特に市内中山間地域への移住のニーズは高まっている。こうした動きに対応して、市の組織として中山間地域担当部長が任命され、緑区役所内に中山間地域対策班が設置されるなど、団体と行政が連携して事業推進に当たる制度が整備されつつある。				
C：協働したことの効果		はい			いいえ
		はい			いいえ
(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。 (実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。 (行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 行政との連携で事業を進めることで、団体の安心感は大いに高められた。また移住相談者、空き地・空き家所有者双方からの信用力も大いに高められていると実感する。				

D：協働の関係性		はい	いいえ		
(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
	協働は団体と行政の相互理解の上で相互の特性を生かす形で進められており、政府が提案している「新たな公共」の1つの在り方になっているといえよう。				
E：自己評価		はい	いいえ		
(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	移住相談に来られ、移住が決まってからも時々団体事務所に顔を出してくださる方がいらっしゃる。移住後も事業の意義を大切に下さっていることの証左であろう。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	中山間地域での不動産取引は、一般の商取引では解決できない問題が少なくない。このような問題に直面した場合、行政の情報収集力、信用力がないことには解決が不可能だと思われる。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	事業の認知度は高まり、その意義も広く認められつつある。また、それぞれの役割の適切に分担できていると考えている。				

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>最近の傾向として中古物件よりも土地を求め、新築を希望する方が増えている。このような方に対して資金面からの支援を行っている。具体的には、団体独自に金融機関と提携して新しい住宅ローンの開発をし、そのローンの紹介、適用のお手伝いをしている。また新築に伴う各種補助金情報の提供もしている。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>神奈川県主催の「移住セミナー」やふるさと回帰支援センター主催の「ふるさと回帰フェア」などのイベントに参加しているが、本事業はこれらのイベントからも一定の評価を得ている。また、神奈川県観光協会主催の「関東ブロック物産観光連絡協議会」の定例記者会見にも本事業に関する情報を提供している。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>最近相模原市内から中山間地域への住み替え、二地域居住の希望が少なからず見られるようになっていく。本事業が市内全体に認知されつつあることを示すものであろう。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>予算面での配慮をいただき、大変ありがとうございます。今後とも一層連携を深め、初期の目的を達成したいと考えています。</p>
その他	<p>次年度をもって市民協働事業は終了することになるが、その後の事業継続の可能性について、関連する行政機関と具体的な検討を進めていきたいと考えている。</p>

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和2年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業					
団体の名称	藤野観光協会					
事業担当課	緑区役所地域振興課 観光・シティプロモーション課 建築・住まい政策課					
事業の概要	人口減少の時代にあって、「住んで良かった」と思えるまちづくりに貢献するために専用HPの運用、移住・定住に関する全般的な相談事業、中山間地域の住環境整備及び空き家対策等の事業を実施する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>緑区の中山間地域は、既に人口減少・高齢化が進んでおり、地域振興・活性化は喫緊の課題である。交流人口・関係人口の拡大とともに、様々なかたちで地域コミュニティの維持・強化に向けた取り組みを推進しなければならない状況であり、これまで藤野地区を中心に実施していたものを中山間地域全体に広げるもので、移住需要への対応の充実を図り、今後の中山間地域の振興など、様々なかたちで地域コミュニティの維持・強化に繋げていく。</p>					
令和4年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の専用ホームページ「里まっち」の運用 ・移住・定住に関する全般的な相談事業 ・移住体験ツアーの開催 ・住環境整備及び空き家の有効利用等 <p>上記に加え、メディア等の活用など、より効果的な広報活動も展開する。</p>					
令和4年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の専用ホームページ「里まっち」の運用 ・移住・定住に関する全般的な相談事業 ・「空き家バンク」の共有 ・神奈川県移住セミナー（オンライン開催（Zoom使用））への参加 					
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の専用ホームページ「里まっち」の運用 ・移住・定住に関する全般的な相談事業 ・一般社団法人「移住・住みかえ支援機構（JTI）」における「マイホーム借り上げ制度」の周知 ・「空き家バンク」「空家等相談員派遣事業」などとの連携による更なる周知 ・SNS等による情報発信 					
	9月末現在での事業達成度・・・（ 60 ）%程度					
	<p>成果をはかる指標（ページビュー数、移住問合せ件数、移住体験ツアー参加者数） 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>○ページビュー数【目標】「里まっち」年間10,000、9月末時点5,882 「さがすむ」年間5,000、9月末時点2,410</p> <p>○移住問合せ件数【目標】年間100件、9月末時点66件</p> <p>○移住体験ツアー参加者数【目標】1回当たり20人、4月開催分20人</p>					
事業予算額	5,000 千円					
うち市負担金額	3,891 千円 （市負担割合 78 % ）					

令和5年度の事業継続を

希望します

希望しません

令和5年度事業予算額	5,603 千円	（当初提案時の金額：	5,695 千円）
令和5年度市負担金希望額	3,929 千円	（当初提案時の金額：	4,000 千円）

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況		はい  いいえ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) コロナ禍で対面の打ち合わせの機会は限定されたが、10月に行政側の3課と藤野観光協会に対面での情報共有を実施し、各担当における役割分担を確認する機会をもつことで、方向性を確認することができた。 また、神奈川県移住セミナーに、市と実施団体合同で参加することができ、移住を検討する方々向けにピンポイントのPRができた。				
B：事業の評価		はい  いいえ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。 (課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。 (主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 移住を検討する方から電話等での問い合わせもあり、緑区の中山間地域全体を対象とした総合的な移住相談窓口を担っていただく本事業は、社会的にニーズのある事業であるといえる。				
C：協働したことの効果		はい  いいえ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。 (実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。 (行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 民間団体もつネットワークや情報など地域特性を生かした施策展開が期待でき、また、市の役割である、広報に関する支援、各種事業との連携を積極的に推進し、効果的な事業展開を図ることが可能である。				

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 2年目として、昨年度から培ってきた団体と行政双方の特長を生かした協働の取組が進み、信頼関係が育まれていることにより、事業を円滑に展開できている。				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	市総合計画及び緑区基本計画、市住生活基本計画において関係人口の創出、豊かなライフスタイルの提案と移住・定住の推進を位置付けていることから、その一助となっている事業であるといえる。また、実施団体が受けている相談件数が増えていることから、ニーズがあるものであり、必要性を感じている。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	市だけでは把握できない働き方や暮らし方の情報を活かした相談が可能となっており、また、市との協働ということで、移住検討者も安心して相談することができている。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担については、適切であると考えている。 ・お互いの経費の額や負担割合については、今後自立に向けて継続が可能になるよう、検討を行う。 				

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

神奈川県主催の「神奈川県移住セミナー」（7/29オンライン）に際して、ふるさと回帰支援センターの相談員から、移住の窓口がある自治体として評価いただいている。
※令和4年度は、神奈川県及びふるさと回帰支援センターの意向により、2回参加（7/29、10/30（予定））

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

細かいところまで相談者のニーズを汲み取り、相談者が移住後も気軽に会いに来ている状況等を鑑みて、相談1件1件をととても大切に対応していると思料。引き続き連携を深めてまいりたい。

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和2年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり					
団体の名称	フードコミュニティ					
事業担当課	こども・若者支援課、子育て給付課、資源循環推進課					
事業の概要	規格外や賞味期限間近の食材が廃棄されている一方、明日の食事にも困る世帯に食材を適宜配布することで循環型社会を実現させ、食の格差を削減することで、市民の暮らしの満足度を高めて、子どもや若者をはじめ誰もが生涯にわたり活躍でき、笑顔と希望があふれるまちを次代につなぐことを目指します。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材支援が必要な子育て家庭に対し、来年度はさらに「一世帯でも多く」お届けする事を目標とする。 ・ 相模原市としての食材支援事業の確立と、安定した支援の継続を目指し、行政とより連携して取り組みたい。 ・ 「食品ロス」の現状を多くの人に理解していただけるよう、市民・企業等への周知活動およびフードドライブ等の協力を呼びかけていきたい。 					
令和4年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度は、子育て家庭への食材配布世帯数を昨年比130%増を実現出来ているので（月：昨年50世帯／今年65世帯）引き続き途切れる事のないよう支援の継続に努める。 ・ 市内子ども食堂への食材支援に力を入れ、迅速かつ公平な情報提供ツールの作成と稼働を目指す。 ・ 市内全公民館へ団体パンフレットと活動啓発チラシの配架（済） ・ アリオ橋本で開催されたイベント内「SDGsブース」出展、フードドライブを実施（済） ・ 市内中学校の職場体験に参加、「食品ロスについて」ミニ講座開催（済） ・ 市内公民館で「食品ロスとSDGs」関連の講座開催 					
令和4年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て家庭への食材配布（月：65世帯／戸配30・会場配布35） ・ セカンドハーベスト・ジャパン集荷（月1回）⇒子育て家庭の食材配布へ ・ フードバンクかながわ集荷（月2回）⇒子育て家庭の食材配布、子ども食堂へ配送（3団体） ・ セカンドリーグ神奈川集荷（月1回）⇒子育て家庭の食材配布、子ども食堂へ配送（適宜） ・ フードドライブ品の集荷（月1～2回）⇒子育て家庭の食材配布、子ども食堂へ配送（適宜） ・ オギノパン集荷（月2回）⇒子育て家庭の会場配布、子ども食堂へ配送（1団体） ・ JA営農センター卵集荷（月1回）⇒子育て家庭の会場配布 ・ 市民からの提供食材集荷（不定期・平均月6回） ・ 市内子ども食堂への配送（適宜） ・ 市内全公民館へ団体パンフレットと活動啓発チラシの配架 ・ アリオ橋本で開催されたイベント内「SDGsブース」出展、フードドライブを実施 ・ 市内中学校の職場体験に参加、「食品ロスについて」ミニ講座開催 					
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て家庭への食材配布（月：65世帯／戸配30・会場配布35） ・ セカンドハーベスト・ジャパン集荷（月1回）⇒子育て家庭の食材配布へ ・ フードバンクかながわ集荷（月2回）⇒子育て家庭の食材配布、子ども食堂へ配送（3団体） ・ セカンドリーグ神奈川集荷（月1回）⇒子育て家庭の食材配布、子ども食堂へ配送（適宜） ・ フードドライブ品の集荷（月1～2回）⇒子育て家庭の食材配布、子ども食堂へ配送（適宜） ・ オギノパン集荷（月2回）⇒子育て家庭の会場配布、子ども食堂へ配送（1団体） ・ JA営農センター卵集荷（月1回）⇒子育て家庭の会場配布 ・ 市民からの提供食材集荷（不定期・平均月6回） ・ 市内子ども食堂への配送（適宜） ・ 市内公民館で「食品ロスとSDGs」関連の講座開催（1月予定） 					
9月末現在での事業達成度・・・（ 60 ）%程度						
<p>成果をはかる指標（ ）</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>「平均活動件数」（2021年4～8月度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ★食材の集荷：月平均25件（2021年度4～8月比約1.04倍） ★食材の配送：月平均20件（2020年度4～8月比約1.02倍） <p>「食品ロス削減効果（2021年4～9月度実績）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★月平均 210万円（2020年度4～9月比約1.1倍） 						
事業予算額	1,315 千円					
うち市負担金額	1,052 千円 （市負担割合 80 %）					

令和5年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和5年度事業予算額	980 千円	（当初提案時の金額：	1,900 千円）
令和5年度市負担金希望額	686 千円	（当初提案時の金額：	1,330 千円）

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことは何か：計画の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・団体内で月1回の定例ミーティングを開催し、活動報告と課題をまとめたうえで毎月の行政ミーティングに臨む事で、情報共有や課題の解決に向かい、速やかな意思疎通が図れている。 ・行政とはメールなどでこまめに連絡を取り、適切なアドバイスを受けている。当団体の活動にも足を運んで頂くなどして、支援の現場を見ていただきながら課題の共有と解決に向けて協力して取り組む事が出来ていると感じている。 ・団体として自立に向けての資金確保が出来ておらず、協働事業後の持続性に課題を抱えている。 ・社会からその必要性を求められる中で、市民団体で行えるボランティア活動では限界があり、行政としてこうした事業の必要性を認識頂き、主体的に事業を継続できる仕組みを作っていただきたい。 				
B：事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・8月から子育て家庭への食材支援の申込み方法を「先着順→抽選方式」に変更したことで、この支援を必要とされている大まかな総数が見えてきた(月：65世帯募集に対し、申込み総数323)。また利用世帯アンケートの内容には、感謝の言葉だけでなく生活のひっ迫を訴える声も多く見られる。当団体は食材支援の必要性を強く感じ、それを受けて行政は市民生活の現状改善に繋げていると確信している。 ・事業経費について。人員確保に伴い、人件費と配送費の安定確保を目指したいところだが、拠点倉庫の継続確保が難しくなった事で移転費用の捻出が急務となっている。5月より予算項目と予算額を見直し、メンバー合意の上で現在は人件費を削減し、倉庫移転費用に充てる計上としている。 				
C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <ul style="list-style-type: none"> ・団体としては、市広報誌や公的通知等での情報提供をしていただける事は大変有益である。当団体も大きな信頼を得る事ができ、市民への広い周知が実現出来ていると感じている。 ・行政としても「相模原市の支援事業」として大きなアピールポイントとなっていると確信している。市内フードドライブ会場への持込数も増加し、協力企業も多く手を挙げて下さるようになってきている。SDGsの推進としても食品ロスへの取り組みは市に貢献出来ていると自負している。 				

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
	<ul style="list-style-type: none"> 行政と生活困窮の市民との橋渡しを担う活動であるため、市民への告知と支援世帯の基準審査は行政が、市民に寄り添い食材を直接お渡しする事は当団体が、それぞれの役割を責任をもって実施出来ていると感じている。 				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> 「やってよかった」以上に「やめてはいけない」という必要性をメンバー一同強く感じている。声をあげにくい生活の困窮、まして子育てで最も重要な「食べる」ことへの支援は、未来の相模原を守る事にもつながると思っている。支援を継続していくことで、どんな環境のどんな人でも、いつでも支援の手は差し出されているという安心感を持っていただけたらと願っている。 				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> 生活水準を満たしていない世帯を絞り込むためには、市と協働でなければその基準は明確に出来ない。必要な人に届けるためには必要な線引きであり、行政にしか出来ない役割だと思う。また市と協働である事は、食材への安心感や当団体の信用を得る事にも繋がっている。 市の広報誌やホームページ、公的通知等での情報発信をしていただく事で、広くかつ公平な情報提供が可能となり、多くの世帯への食材提供を実現することが出来ている。 				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなってると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯の生活状況を把握され、子ども・若者を支援する担当課との協働はとても大きな意味を持つと考えている。単なる食材支援だけで終わらせず、この支援をきっかけに見えてくる様々な家庭の姿を、行政にしか出来ない支援へとつなげてもらえたらと思う。 フードドライブ活動を資源の循環として位置づけ、市内のリサイクルスクエアで実施する取り組みは大変有効だと感じている。市民にも広く認知されており、ゴミ削減や環境問題とともに食品ロスにも関心が高まっていると感じる。 				

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフジャンパーの作成・・・活動に誇りを持ち、団結力を高めることに効果的だった。 ・zoom会議の導入・・・多忙なメンバーも参加しやすいよう、定例ミーティングにzoomを取り入れた事で全員の意思疎通を図ることが出来た。 ・プロフィール名簿の作成・・・お互いに親しみを持ち、活動しやすい関係づくりに有効だった。 ・感謝通信の作成・・・食材を受け取られた側の声を、提供して下さった方にフィードバックする事で、食材の循環を意識してもらい、双方の喜びを共有してもらう事が出来た。
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の会場配布から、配布場所を拠点倉庫から各区の社会福祉協議会施設に変更して行っている。（南区・緑区で実施）社協職員の方々も顔を出して下さり、この事業の今後の継続に期待の声を寄せていただいている。 ・フードバンクかながわの集荷配送を、富士工業株式会社様に配送支援としてお手伝いいただいている。当団体の活動に関心を持って頂いた事で定期的なご支援を下さっており、大変嬉しく思っている。
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当団体は食材支援が中心であるが、市民の皆様からのフードドライブ品や企業様の提供品の中にある日用品や文具、衛生用品なども受け取る機会があり、現在子育て世帯に食材と一緒にお渡しをしている。生活の中で切り詰めがちなもの、最低限必要でもやむなく買い控えてしまうものなど大変喜ばれている。月によって内容は変わってしまうが、ご提供下さった方の気持ちを無駄にすることのないよう、今後も必要とされる方にお届けしていきたいと考えている。 ・社会福祉協議会の計らいで、毎月65世帯に生理用品のお渡しも行っている。こうした消耗品も我慢されている方は多く、喜びの声が多く聞かれている。食材以外の生活必需品や学用品の提供も、出来る範囲で継続していきたい。
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃より当団体の活動にご理解いただき、心強いサポートに感謝申し上げます。時世柄、食材支援のニーズは高まる一方ですが、現在、我々の拠点倉庫の継続確保が困難になっております。経費を見直し賃料の捻出を目指していますが、物件探しに大きな負担を感じております。当団体の活動は、自らでお金を生み出せる活動とは異なるため、この事業は協働事業予算が全てです。メンバーの安心（配送経費の確保、活動保険加入など）と食材の安全（室温管理、衛生環境の確保など）を維持できる低価格な物件を、日常の活動と並行して探す事は大変難しいです。もし今後も相模原市としてこの事業の必要性を感じて頂けるならば、拠点の確保に向けて、行政のお知恵を拝借頂けます事を切にお願いいたします。
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和2年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり					
団体の名称	フードコミュニティ					
事業担当課	こども・若者支援課 子育て給付課 資源循環推進課					
事業の概要	規格外や賞味期限間近の食材が廃棄されている一方、明日の食事にも困る世帯に食材を適宜配布することで循環型社会を実現させ、食の格差を削減することで、市民の暮らしの満足度を高めて、子どもや若者をはじめ誰もが生涯にわたり活躍でき、笑顔と希望があふれるまちを次代につなぐことを目指します。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>団体と行政が協働し、各々の役割を連携して担うことで、子ども食堂や子育て家庭など必要としている方への食の支援を充実し、合わせて食品ロスの削減に貢献する。</p>					
令和4年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ品の集荷 ・市民や企業からの食材集荷（随時） ・子ども食堂への食材運搬 ・子育て家庭への食材配布（月65件） 					
令和4年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ品の集荷（1回/月） ・市民や企業からの食材集荷（随時） ・子ども食堂への食材運搬（3回/月） ・子育て家庭への食材配布（月65件） 					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ品の集荷（1回/月） ・市民や企業からの食材集荷（随時） ・子ども食堂への食材運搬（3回/月） ・子育て家庭への食材配布（月65件） 					
9月末現在での事業達成度・・・（ 50 ）%程度						
成果をはかる指標（ 集荷回数、運搬回数 ） 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等						
事業予算額	1,315 千円					
うち市負担金額	1,052 千円 （市負担割合 80 %）					

令和5年度の事業継続を

希望します 希望しません

令和5年度事業予算額	980 千円	（当初提案時の金額：		千円）
令和5年度市負担金希望額	685 千円	（当初提案時の金額：		千円）

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A：取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 事業は概ね計画通り実施しているが協働事業終了後、自立して活動するための資金確保や組織化が予定通り進んでいない				
B：事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 子育て家庭への食材配布は、アンケートで利用者から概ね良好な評価をいただき、市民や社会的要請を的確に捉えることができた判断している。				
C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 行政では対応が難しい集荷や配送等の業務を団体が担うことで、食品ロスの削減の推進と、食を必要とする家庭への支援をスムーズに行うことができた。				

D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 協働事業の意義や役割分担について団体と認識の違いが生じた時は、都度状況を確認し、情報を共有しながら取り組んだ。				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	協働事業提案制度により始まった子育て家庭への食材支援は、利用者から好評であり、子ども食堂からも喜びの声が多く挙がっている。 協働で事業を進めることで多くの方の支援に繋がった。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	個々の利用者の希望や状況に応じた食材配布を行っていただくことで、利用者から高い評価を得ることができた。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市・団体の役割を認識して適切に行うことができている。 市の経費負担が多い状況のため、事業の継続年数や協働事業終了後の自立を視野にいれた双方の役割分担について検討する必要がある。				

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>子育て家庭への食材支援は、一人一人の置かれている状況を考慮して、個別配送と会場配布を設定し、利用者に寄り添った形で実施している。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>食材の提供元から、市が団体に渡したフードドライブ品の最終的な提供先について、市として可能な限り把握し、フードドライブ品を必要としている人への確実な提供を図ることを検討するべきとの意見をいただいた。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>団体の積極的な活動により、フードバンクの活動について市民・企業に認知していただける機会が多くなり、食材の寄附の申し出等も増えたことから、今後も認知度を高め、賛同していただける市民のつながりを広げていきたい。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>日々の取組みについて感謝しています。 次年度は最終年度となるため、協働事業終了後を見据えて、団体としての意志や希望を明確にして活動していただきたい。</p>
その他	

審査会採点および意見

事業の 有効性	事業は地域や市民のニーズを的確に捉え、市民が抱える公共的課題に込えているか。	
	/ 5	コメント
協働の 必要性	単独よりも協働して取り組むことで、より高い効果・成果を得られているか。	
	/ 5	コメント
役割分担の 妥当性	協働の関係性や役割分担は適切か。	
	/ 5	コメント
経費の 妥当性	事業の必要性、協働の必要性等を勘案し、事業経費や負担割合は適切なものであるか。	
	/ 5	コメント
継続の 妥当性	課題解決のために協働事業提案制度において継続することが妥当か。	
	/ 5	コメント
合計	/ 25	

普通＝3点を
基準として採点

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

協働事業提案制度審査作業部会 委員名簿

No.	氏 名	構成員名	現 職
1	いしかわ すずこ 石川 壽々子	相模原市市民協働推 進審議会委員	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 理事
2	いよだ たつじ 伊豫田 竜二	アドバイザー	伊豫田中小企業診断士事務所 中小企業診断士
3	おおくぼ むねとし 大久保 宗俊	相模原市市民協働推 進審議会委員	相模原市公民館連絡協議会 副会長
4	ひらやま やすのぶ 平山 易申	アドバイザー	西武信用金庫橋本支店 支店長
5	めが こ 妻鹿 ふみ子	相模原市市民協働推 進審議会委員	東海大学 健康学部 教授